



文化財を守り後世に伝えたい



1月26日、文化財防火デーにあわせ、国の重要文化財に指定されている阿蘇神社で、第11回阿蘇神社消防訓練が実施され、消防署や消防団、阿蘇神社職員など約50人が参加しました。

訓練は夜間に拝殿付近で火災が発生した想定で行われ、本番さながらの緊張感の中、真剣に訓練に励みました。

今回の訓練では、昨年、神社が国や県、市の補助を受け事業費約1億3700万円かけて整備した防災設備のうち6基の自動放水銃を初めて使用。180トンの

貯水タンクからエンジンポンプでくみ上げられ、左右に筒先を振って勢いよく放水しました。

この日は、宮地小学校3年生の児童たちが授業で訓練の様子を見学しました。

躍進賞受賞！ 郡市対抗熊日駅伝で健闘！

前監督 故渡辺健児さんの喪章つけ走る

天草から熊本市の通町までの14区間105.3^キで毎年熱戦が繰り広げられる第36回郡市対抗熊日駅伝が2月14日行われ、阿蘇郡市チームは7位と健闘しました。本市からも選手が出場しチームに大きく貢献しました。19チーム出場のうち1区で、2位と健闘した小野伽仁選手（阿蘇北中1年）ほか、坂田功志さん（会社員、南黒川）、森本幸司さん（高校職員、阿蘇北中出身）、中島慎治さん（会社員、阿蘇北中出身）です。

なお、選手は長年、駅伝の監督として阿蘇郡市の陸上強化に情熱を持って取り組まれ、昨年逝去された渡辺健児さん（小倉）に、自分たちの走り感謝の意を天国に届けようと、喪章をつけ走ったということです。

女子は高校生2名が出場！

女子の同大会は1月24日、熊本市・益城町で行われ、本市からは、伊藤栞さん（尚綱高1年、一の宮中出身）、甲斐秀美さん（東海第二高1年、波野中出身）が出場し健闘。阿蘇郡市は11位の結果でした。



人口減少に歯止めを。集落点検から学ぶもの

昨年より、なみの高原やすらぎ交流館は、波野地域が抱える課題や将来像についてみんなで考えようと、3つの集落（小園、中江、横堀）で「集落点検」に取り組んでいます。その報告会が65人が参加し行われました。報告会では、熊本大学文学部徳野貞雄教授と研究室の学生が出前授業形式で、「集落点検」「フェースシート」「地域観」「家族の会話」「農業・後継者問題」「町村合併」についての聞き取り調査から現実の姿を紐解いていきました。

参加者の80%は将来、「地元人口が減る」、70%は「子どもは波野に住んで欲しい」と思っているが、「しかたない」と思っていることがわかり、将来への不安が浮き彫りとなりました。今後、人口の増加は見込めないものの、観光としての交流を

どう経済に結びつけるか、自分の子供（後継者）に、どこまで頼れるかが地域の活性化を左右するポイントではないかと、徳野教授は締めくくられました。

来年度は、やすらぎ交流館では地域づくり「熊大ゼミ」を開校する予定です。